

岐阜市未来のまちづくり構想 について

2026.7.7 企画部未来創造研究室

岐阜市未来のまちづくり構想



定義

01

2040年頃を見据えたまちづくりの総合的な方針

計画期間

02

令和4年4月～令和22年度（2040年）

⇒65歳以上のシニア世代の人口がピークとなる等、
日本全体や岐阜市の人口構造の変化における
大きな局面が予想される時期

改定時期

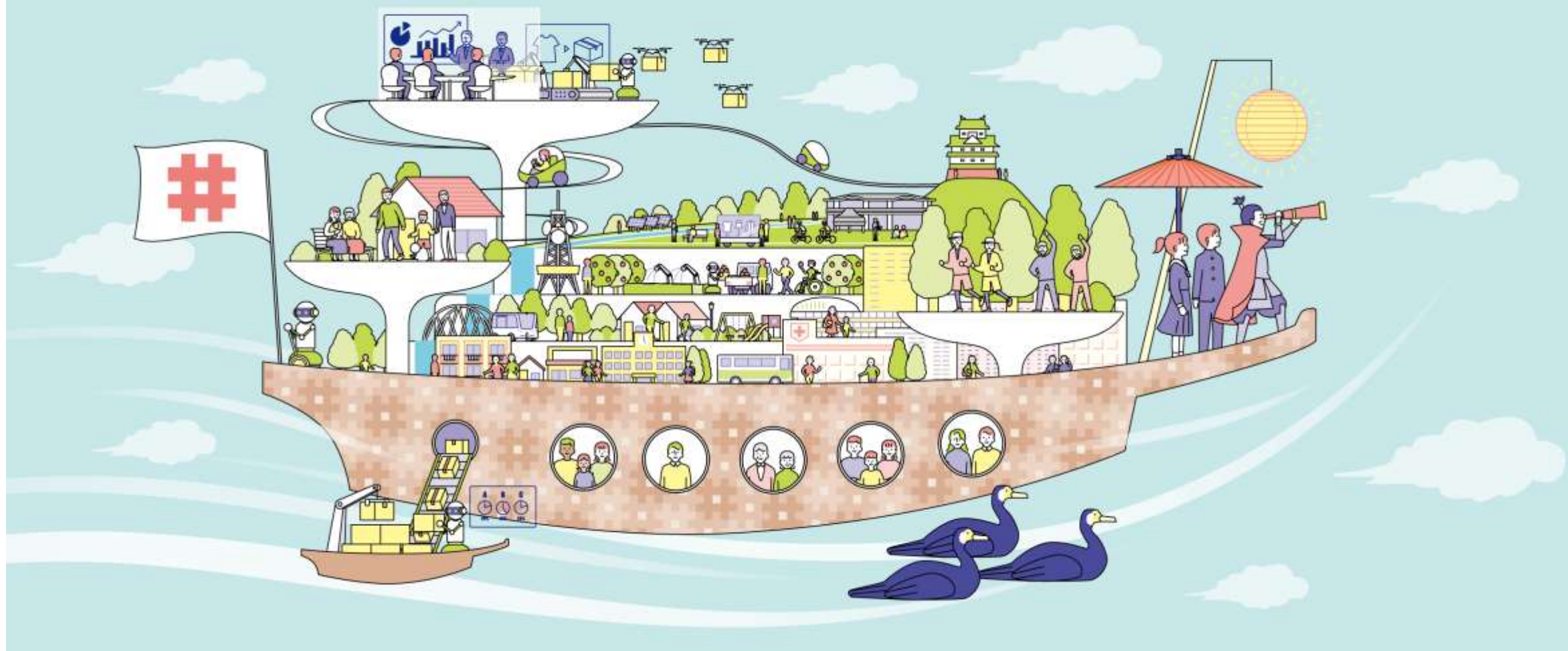
03

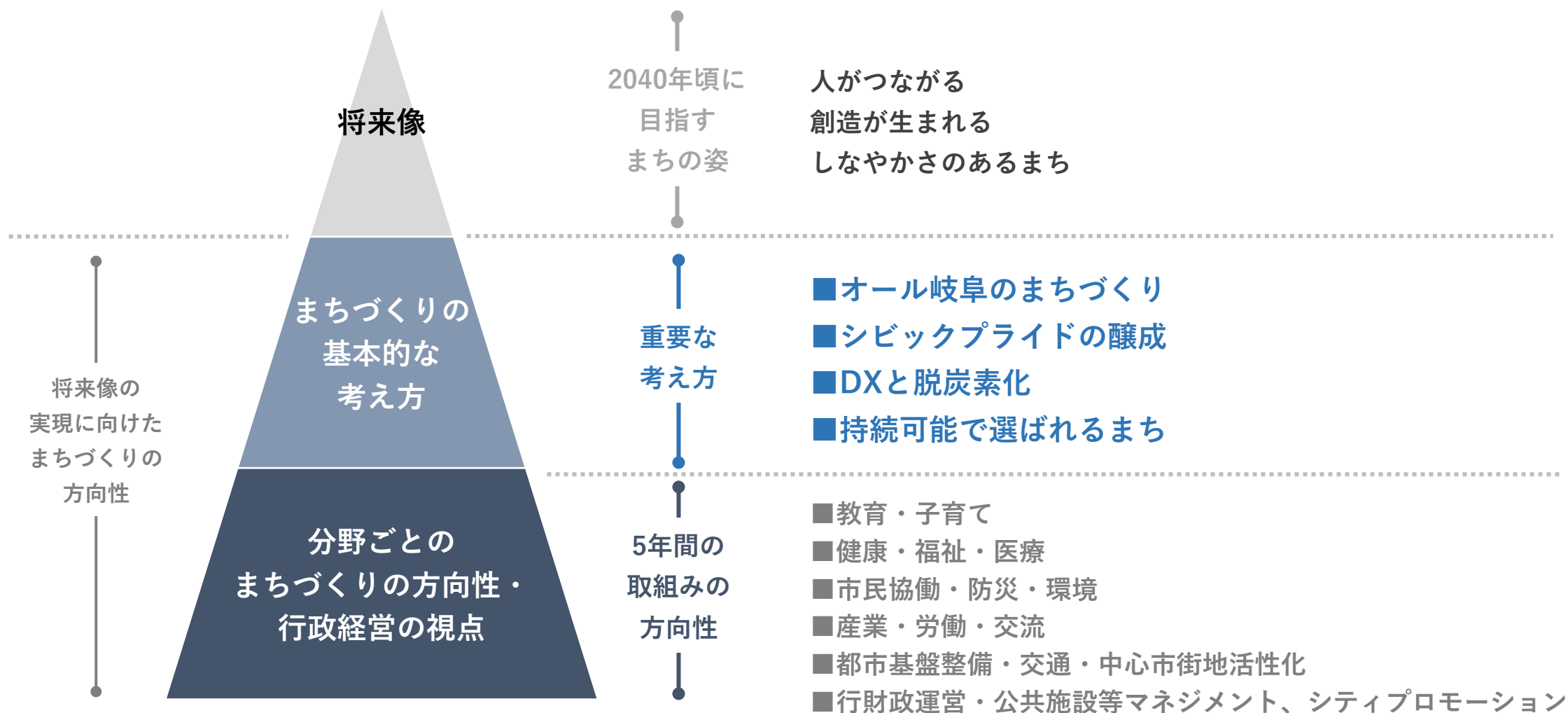
令和8年度末改定予定（令和9年4月施行）

※5年ごとの見直し

これが岐阜市の将来像

人がつながる 創造が生まれる しなやかさのあるまち





① オール岐阜のまちづくり

- 市民一人ひとりが主役のまち
- 「協働」が合言葉
- 人を支え応援する、温かいまちになる



② シビックプライドの醸成

- 一人ひとりの岐阜愛が育まれる
- 新たなつながりが生まれ、
- 多様なコミュニティが育つ



③ DXと脱炭素化

- デジタル技術の活用
- 情報格差にも丁寧に対応
- みんなで脱炭素化



④ 持続可能で選ばれるまち

- 誰一人取り残されないまち
- 子育てしやすく働きやすいまち



7～9ページ

教育・子育て

こどもファーストでみんなを笑顔にするまちへ

10～12ページ

福祉・医療・健康

だれもが自分らしく健康に生きられるまちへ

13～15ページ

市民協働・防災・環境

人をつなぎ、暮らしと環境を守るまちへ

16～18ページ

産業・労働・交流

活気あふれる仕事と交流のあるまちへ

19～21ページ

都市基盤整備・交通・中心市街地活性化

活力と暮らしやすさのあるまちへ

① 子どものいのちを守り、学びを支えます

【構想P27】

- 子どもとその教育に関わる当事者である学校・家庭・地域の誰もが生命の尊厳を理解し、一人ひとりが価値ある大切な存在として互いに認め合う教育を推進
- 子どもが心身ともにより良い状態を維持・増進するとともに、自然災害や熱中症、交通事故からも子どもを守る取組を推進
- いじめや虐待をなくし、不登校や貧困、障がいなど様々な困難や悩みを抱える子どもを支援するとともに、その支援に必要な人材の確保や育成を推進
- 感染症等の外的要因や、一人ひとりの特性・発達等の内的要因に関わらず、誰一人取り残されることなく安心して学び続けられる仕組みの構築や体制を整備

② 子育てに希望と安心のあるまちへ

【構想P27】

- 結婚、妊娠、出産、子育てにおける希望を実現するまちづくりの推進
- 岐阜市子ども・若者総合支援センター「エールぎふ」等を拠点とし、子育ての悩みや不安、孤立の解消に向けた切れ目のない総合的・継続的な支援の充実と、家庭や地域の子育て力・教育力の向上を図る
- 多様な働き方ができるまちづくりの推進や、子どもに関わる大人が共に子育てをすることなどにより、誰もが仕事と生活や子育ての調和のとれた暮らしの実現を図る
- 貧困状況にある家庭への支援や児童虐待防止対策、外国ルーツの子ども・家庭への対応の充実等、すべての子どもの将来の自立や社会参加、就労への接続を推進
- 民間の力も活かしながら、多様化する保育ニーズに対応するため、保育環境の充実を図る

③ 教育のリ・デザイン（未来の教育・未来の学校づくり）

【構想P28】

- 自ら考え、選択して行動する力、変化にしなやかに対応し、新たな価値を創造する力を育む教育を推進
- 一人ひとりが望む生き方を探究し、才能開花や好奇心・探究心・創造力の育成、自己肯定感の向上につながる教育を推進
- 一人ひとりの特性に応じた個別最適な学びと協働的な学びを推進
- タブレット端末等を活用し、あらゆる教科、デザインやアート、テクノロジーに関する教育、小中高生の起業家を養成する取組、本市の歴史や文化・自然、地域の食などの資源を活かした独自の学びを推進
- 教職員の働き方改革と必要な資質・能力の育成を推進
- 小中一貫教育の取組を踏まえ、義務教育学校等の教育制度の導入を検討
- 体育館の空調設備整備など良好な教育環境の整備とともに、教育DXの推進による学び方の変化や公共施設等マネジメントを踏まえた学校施設の将来のあり方の検討を推進

④ 子どもの可能性を広げる幼児教育

【構想P28】

- すべての教育の出発点である家庭教育を支援するための機会の創出や情報発信等の充実を図る
- 民間企業や大学の知見等も活かしながら、認知能力だけではなく、自己肯定感や主体性、協調性、社会性といった非認知能力を育む教育を推進
- 幼児期と義務教育期の円滑な接続など、子どもに関わる人や組織の連携を促進
- 子どもの個性や発達の高齢性、心や体の健康増進に関する大人の理解を促し、適切で継続的な支援を実施
- 子どもは遊びを通して学び、成長し、また、探究力を高めていくことから、外遊びをはじめ、様々な場所で遊び込む機会やそのための環境整備を推進

⑤ これからの時代に相応しい高等教育へ

【構想P29】

- 変化の激しい時代にも対応できる基礎的で普遍的な知識や技能を育むとともに、新たな価値を創造する人材や起業家を育成するなど、一人ひとりの可能性を最大限に伸長する教育を推進
- 多様な世代や価値観が集う知の拠点である大学の教育や研究の質の向上を図るとともに、民間からの投資を呼び込むなど、経営やマネジメントの視点を持った大学運営を推進
- 大学における地域社会との橋渡しを担うコーディネート機能の充実と、産学官連携によるスタートアップ支援、新たな事業創出や地域課題解決を図る取組を推進
- 本市の幼児教育・初等中等教育機関との連携及び、市内外の高等教育機関や民間企業等との連携・共創を促進
- 大学の専門性を活かしたりカレント教育（社会人の学び直し）を推進

⑥ 子どもと教育を中心とするまちづくり

【構想P29】

- 多様性への理解を深め、様々な対立やジレンマを超えて相互に尊重する対話を進め、持続可能な社会を築いていくための方法を共に学び合う機会や場を創造
- 公共施設やオープンスペースなど、まちの至る所の多様な地域資源を活かした学びと実践ができる機会や場づくりを推進
- 生涯にわたって誰もが文化芸術やスポーツを楽しみ、豊かな感性と生きる力を育むとともに、心身ともに健康で生活の質を高め続けられる取組を推進
- 学校や公民館等を拠点としながら、学校・家庭・地域が一体となり、コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等を活かした人材育成とコミュニティの活性化を促進
- 子どもが安全安心で、楽しく学び、過ごせるサードプレイス（自宅や学校・職場ではない場）の充実と、オンラインを活用した新たな居場所づくりを検討

① 人生100年時代、伸ばそう健康寿命

【構想P31】

- 健（検）診の受診や保健指導の利用を促すことにより生活習慣病の予防を推進
- スマートフォン等で、マイナポータルを通じ、いつでも健（検）診結果を見て自分の健康状態を把握し、必要な生活習慣の改善に取り組むなど市民の健康意識を高め、健康増進につながる行動を促進
- 健康を増進するために望ましい身体活動・運動の習慣づくりへの支援を充実
- 誰もが健全な食生活を実践していくことができるよう、飲食関連事業者や地域のボランティア団体などと連携し、ライフステージに応じた食育を推進
- 栄養、運動、口腔機能の維持、社会参加を促し、適切な支援により、生活機能の低下や介護状態となることを防ぐフレイル予防の取組を実施

② 高齢者や障がいのある人が安心できるまちへ

【構想P31】

- 地域ごとの特性も活かしながら、医療や介護などの様々な職種が連携して高齢者等を支援する地域包括ケアシステムを充実
- 認知症への理解啓発や、成年後見制度の活用促進など、認知症との共生に向けた取組を推進
- 介護等の担い手の確保・育成に向け、労働環境改善などに対する支援策について積極的に情報発信するとともに、必要な知識や技術を習得する機会の充実を図る
- 障害福祉サービス等の提供や相談支援体制の充実を図るとともに、一般就労と福祉的就労の機会の確保に努める
- 発達の遅れや障がいなどへの早期対応とともに、障がいのある子を含め、すべての子どもの健やかな成長に向けた保育や教育の環境づくりを推進

③ ちがいを大事にして生きる力に変えるまちへ

【構想P32】

- 障がいや障がいのある人に対する理解と配慮の啓発に努めるとともに、施設や道路、公共交通、情報の入手などに関するバリアフリー化を推進
- 互いの文化や習慣を理解し合うことができ、外国人市民にとって暮らしやすく活躍できる多様性を活かしたまちづくりを推進
- 様々な人権課題を正しく理解し、確かな人権感覚を身に付ける教育や啓発を進め、誰もがその個性や価値観を互いに尊重し合う社会を実現
- 男女が性別に関わらず、対等な構成員として社会の様々な活動に参画し、個性と能力を発揮できる男女共同参画社会を推進

④ 一人ひとりに寄り添う福祉

【構想P32】

- 高齢の親とその子の生活が問題となる「8050問題」のような、分野別の支援では対応が困難な、複雑・複合化した支援ニーズを受けとめる包括的な支援体制を構築
- 個々の状況に応じた就労支援や生活支援を包括的に実施するなど、複合的な課題を抱える生活困窮者等への支援体制を充実
- 自殺の危険を示すサインへの気づきや傾聴等を行うゲートキーパーの育成を進めるなど、孤立・孤独を防ぎ、悩みを抱えた人に対する支援する体制づくりを推進
- ひきこもりに対する相談体制の強化に取り組むとともに、関係機関や支援を行う団体等とのネットワークの形成を通じて、ひきこもり本人や家族への支援体制を構築

⑤ いのちを支える安心の医療体制

【構想P33】

- 地域の医療需要を見極めながら、医療資源を効率的に活用するとともに、医療と介護の連携により安定的に医療を提供できる体制を構築
- 医療機関と連携し、デジタル技術を活用しながら、医療体制のさらなる充実を図る取組を検討
- 地域の医療を支える役割を担う岐阜市民病院は、関係機関と連携して市民のニーズに応え、小児医療、精神科医療を含む幅広い医療を提供するとともに、急性期病院として、専門的な手術、がん医療などの先進的かつ高度な医療や救急医療を提供
- 災害拠点病院である岐阜市民病院は、災害時における救命医療を提供する機能を整備
- 岐阜市民病院を含め、広域的な小児一次救急医療や二次救急医療体制を構築し、圏域として安定的な医療体制を構築

⑥ 感染症に強いまちづくり

【構想P33】

- 感染症の発生状況や感染症に関する正しい知識について、市民に分かりやすい情報を発信し、市民一人ひとりの適切な感染防止対策の徹底を促進
- 感染者が発生した場合に積極的疫学調査を実施するとともに、必要に応じて検査体制を拡充するなど、感染症の拡大防止体制を充実

※積極的疫学調査：感染症などの色々な病気について、発生した集団感染の全体像や病気の特徴などを調べることで、今後の感染拡大防止対策に用いることを目的として行われる調査
- 医師会や医療機関、岐阜県等と連携を図りながら、感染症の拡大防止などに対応するための体制を確保

① つながり支え合う地域コミュニティへ**【構想P35】**

- 地域のまちづくり活動について、まちづくり協議会の設立や地域まちづくりビジョンの策定、また、担い手の育成や活動拠点の確保などによる機能強化を支援するとともに、地域ごとの特性やニーズ、課題を踏まえ、地域と地域が連携した取組を促進
- まちづくりにおいて行政の重要なパートナーであり、地域コミュニティの根幹を成す自治会の重要性を認識し、地域住民の自治会への加入及び自治会活動への参加がしやすい環境づくりなど、その機能を果たせるよう支援
- 行政と社会福祉協議会などの団体が連携し、高齢者や障がいのある人などへの声かけなど様々な見守り活動や助け合い活動、公的な相談支援体制との連携など互いに助け合う地域づくりを促進

② 一人ひとりの地域への想いをカタチに**【構想P35】**

- 企業や団体、NPO等が主体、あるいは、市との連携・協働により、地域社会の課題解決を図る取組を促進
- すべての世代のシビックプライドの醸成につながるよう、地域での様々な活動を実践する機会を創出
- 多様な主体の協働を促す、中間支援組織によるコーディネート機能を充実
- 個人の学びの充実とともに、地域課題の解決に向けた活動にも生きる生涯学習機会の提供

③ いのちと暮らしを守る防災

【構想P36】

- 南海トラフ巨大地震や異常気象による豪雨や洪水など様々な災害の予防や応急対策、復旧の諸活動を円滑に実施できる体制を充実
- 道路や橋梁、上下水道などの適切な維持管理や更新、耐震化、計画的な整備や長寿命化を推進するとともに、住宅や多くの人が利用する建築物の耐震化を支援
- 通学路を含む道路や指定緊急避難場所等に沿って設置されている危険なブロック塀等の撤去を支援
- 避難所に指定されている小中学校等体育館のエアコン設備や、避難所の備蓄品、各種資機材等の整備を推進
- 学校での防災教育や地域の防災訓練、防災士の育成など、市民一人ひとりの防災意識向上と行動促進を図る
- 市と民間企業等が防災に関する協定を締結して取組を進めるとともに、民間企業におけるBCP（業務継続計画）の策定支援等を推進
- デジタル技術の活用により、災害時に必要な情報を迅速に提供する取組の充実を図る

④ 暮らしの安全・安心を確かなものに

【構想P36】

- 警察や関係機関との連携を図りながら、地域の自主的な防犯活動を促進
- 犯罪被害者が受けた被害の回復及び軽減を図る支援施策を推進
- 公共の場所における客引き行為等の禁止等に関し、必要な事項を条例で定め、市民等が安全かつ快適に通行・利用することができる環境づくりの推進
- 交通安全教育や啓発活動のさらなる推進により、交通安全対策を強化
- きめ細やかな消費者相談に加え、情報の収集提供により消費者教育を推進し、消費生活の安定と向上を図る
- 消防隊員の能力開発や消防庁舎・消防車両などの整備により消防体制を強化するとともに、救急隊員の質の向上による救急体制の充実、市民への救命講習による救命率の向上を図る
- 消防団の拠点整備や団員の確保により消防団機能を強化するとともに、水防団の運営や水防倉庫の施設整備、水防訓練などにより水防機能の維持・向上を図る

⑤ 脱炭素・資源循環でクリーンな未来を

【構想P37】

- 市有施設において先導的な省エネ化・再生可能エネルギー導入を推進し、市域全体の取組を牽引するとともに、その取組を民間事業者に波及させることにより、脱炭素化を促進
- 市民や事業者等による環境配慮に向けた行動を促すとともに、脱炭素化を市民、行政、企業が一体となって進めていく連携体制の構築を推進
- ごみの発生抑制や再生利用、分別回収など、資源を有効活用する循環型社会の構築に向け、市民・事業者・行政が地域の中で一体となったごみ減量に関する運動を推進

⑥ 自然の豊かさと美しさを次の世代へ

【構想P37】

- 本市の自然環境を守り育て、未来に引き継ぐため、森林や河川などの保全と創造に関して、市民や事業者、行政が連携してそれぞれの役割を果たし、自然と共生するまちづくりを推進
- 多様な生き物とのふれあいを大切にし、生物多様性に関する啓発や自然環境保全活動団体などの活動を促進
- 市民の環境意識の醸成、次世代を担う子どもたちや地域の環境保全活動の核となる人材を育成するため、環境教育の充実を図る
- 廃棄物の安定的処理体制の構築による適正処理を推進するため、老朽化が著しい掛洞プラントなどライフラインの一つであるごみ処理施設を計画的に更新するとともに、コストとサービスのバランスを考慮しながら、効率的な収集運搬体制を構築

① 「自ら稼ぐ地域産業」への支援

【構想P39】

- 地域産業の魅力・ブランド力を高め、地域の誇りとなる新たなビジネスモデルを構築し、未来へ継承する
- 農商工連携の促進等による新たな製品・サービスの開発や販路開拓を支援して地域内に新たな取引関係を生み出し、地域経済循環を高める
- デジタルツールの活用による新しい時代に適したサービスの創出や、創造性の高い仕事に集中できる環境づくりを支援し、産業の付加価値向上、事業の継続・発展を促す
- 企業の再生可能エネルギー等の活用を促すことにより、サプライチェーンからの除外リスクや電力コストの抑制を図り、企業の経営力強化につなげる
- 中小企業・小規模事業者の資金繰りや、事業承継、災害対応等の取組を支援することにより、事業継続リスクの抑制と事業者等の変化への適応力強化を図る

② 民間の新しいチャレンジを応援

【構想P39】

- 産学官連携で、AI、IoT、ロボティクス、ビッグデータなどのデジタル技術を活用したイノベーションと、人材・資金・情報の集約によるスタートアップを創出し、地域内に新たな取引関係と付加価値を生み出す
- 地域経済の活性化と雇用の創出を図るため、民間活力による新たな開発手法及び農業6次産業化など新たな分野も含めた、ものづくり産業等の集積や、産学官連携によるライフサイエンス拠点形成を目指した企業誘致・立地支援を推進
- 脱炭素社会の実現に資する再生可能エネルギー関連の産業創出を促進し、エネルギーの地産地消による地域経済循環の向上など、経済と環境の好循環の実現を図る
- 将来の産業構造の変化にも適応し、新たな価値を生み出すことのできる柔軟で創造性の高い人材を育成

③ 食を支え、未来へつなげる農業

【構想P40】

- 中心経営体による効率的な農業経営と中小規模の農家への支援、スマート農業の推進・デジタル技術の活用により生産性を向上させ、経営力強化を図る
- 近隣市町と連携した特産農産物のブランド力向上と販路の拡大支援により、高付加価値化及び収益性向上を図る
- 関係機関と連携した技術指導、農地や資金調達等の支援により、後継者育成だけでなく非農家からの就農も含めた多様な人材の就農を推進し、農業の次世代の担い手の確保・育成を図る
- 生産者と消費者とのつながりの強化、食農教育や有機農業などで生産された安全・安心な農産物の地産地消の推進により、市民や消費者の農業や農地の保全に対する理解の促進を図る

④ 持続可能な観光まちづくり

【構想P40】

- 多くの人々が安心して楽しめる観光地づくりを目指し、データ分析による戦略的なマーケティングと新型コロナウイルス感染症の拡大影響による新しい生活様式にも対応した受入環境整備を推進
- ぎふ長良川の鵜飼や岐阜城、金華山などに加えて、新たな観光資源を掘り起こし、面的に魅力を創出することにより、観光客の回遊性向上や滞在時間拡大を図り、観光消費の増加につなげる
- 川文化に市民や観光客が親しみ、楽しめる親水空間を創出するため、長良川の水辺環境を整備し、官民連携による利活用を促進
- 製造業や農林水産業などの地域産業と連携した観光を振興し、地域内の経済循環の向上を図る
- 観光の担い手の育成と観光資源に対する市民の誇りの醸成を図りながら、市民と行政、観光事業者等が一体となって、観光を基軸とした持続可能なまちづくりを推進

⑤ 自分らしく働ける雇用のあるまちへ

【構想P41】

- 年齢や性別、障がいの有無などにかかわらず、すべての人に居場所と出番があり、一人ひとりが持てる力を発揮する多様で柔軟な働き方である、ワークダイバーシティを推進
- 時間や場所にとらわれない、短時間・フレックス・テレワーク、兼業・副業など多様な働き方の導入を促進
- 市内のみならず市外県外にも広く目を向けたオンライン採用を促進し、若者、女性、高齢者、外国人など多様な人材の地域への受け入れにつなげる
- 企業が求める人材を就職に結びつけることにより、働きたいすべての人が能力を活かし活躍できる地域社会の実現を目指す

⑥ 人を魅了し、交流を生み出すまちへ

【構想P41】

- 戦略的なM I C E 誘致と観光との連携により、地域のビジネス機会の創出や研究促進、地域経済への波及効果、都市のブランド力向上を図る
※MICE：Meeting（会議）、Incentive travel（報奨・招待旅行）、Convention（学会・国際会議）、Exhibition（展示会）/Event
- 多様な文化芸術に触れる機会を創出し、市内外の人々との交流を促進するとともに、本市固有の歴史文化の発掘や活用を通じて地域の魅力向上を図る
- 地元プロスポーツの活性化や競技スポーツの振興をはじめ、市民の誰もが身近な場所で気軽にスポーツができる環境整備等を通じて、交流機会の増加を図るとともに、スポーツコンベンションや市外からの誘客を推進
- 海外都市との文化・スポーツを通じた市民交流や観光・農商工関連の産業をはじめとする経済交流を促進し、本市の魅力発信とグローバル人材の育成を図る

① コンパクト・プラス・ネットワークによる集約型都市へ

【構想P43】

- 人口減少や高齢化が見込まれる中においても健康で快適な生活を確保するため、コンパクト・プラス・ネットワークの考え方にに基づき、住宅と医療・福祉・商業等の利便施設がまとまって立地するようゆるやかに誘導を図りつつ、公共交通と連携したまちづくりを推進
- 中心部・周辺部及び郊外部のそれぞれにおいて、地域の特性に応じ、ふさわしい都市機能や日常生活機能等が集積する拠点の機能を高め、都市の活力や魅力の向上を図る
※中心部（中心市街地活性化基本計画に基づく中心市街地を含んだ地理的・機能的中心地）・周辺部（中心部の周辺に位置し、環状線沿線を中心とした地域）・郊外部（中心部及び周辺部を除く地域）
- 都市活動を支え中心部や拠点等を連絡する軸として公共交通や主要道路を位置づけるとともに、特に公共交通については、人口減少によるバス需要の低下や、深刻化する運転士不足などの状況を踏まえ、路線バスとコミュニティバスが連携した持続可能な公共交通ネットワークの構築を推進

② デジタル技術等を活かしたまちづくり

【構想P43】

- 産学官連携のもと、デジタル技術等を活用し、交通や健康、観光等の各分野の課題解決とともに、分野を横断した全体最適化を図り、出かけて健康になるまち「健幸都市ぎふ」の実現を目指すスマートシティぎふの推進を図る
- 持続可能な公共交通ネットワークの構築を目指し、公共交通への自動運転技術の導入に向けて取り組むとともに、民間との連携を強化し、本市に適したMaaSの研究を進め導入を推進
※Maas（Mobility as a Service）：一人ひとりの移動ニーズに対応して複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済等を一括で行うサービス

③ 住み心地の良い住環境のあるまちへ

【構想P44】

- 地域ごとの特性や都市環境を活かした、便利で快適に暮らせる住環境づくりを推進
- 行政や市民・事業者等が協働し、各地域における自然、歴史文化、都市が調和した多様で個性ある美しい景観を貴重な資産として未来に引き継ぐとともに、岐阜ならではのまちなみを活かした魅力ある景観形成・景観まちづくりの取組を推進
- 周辺の生活環境に悪影響を及ぼすおそれのある空き家への対策を進める一方で、官民連携による空き家の流通及び利活用を促進
- 大気や水、土壌などの環境を良好に維持・保全するとともに、自動車から環境負荷の小さい公共交通への転換を促すことなどにより、健康で環境にもやさしい暮らしを実現

④ 憩い・潤い・安らぎのある緑のまちへ

【構想P44】

- 本市における豊かな緑を貴重な地域資源、固有の景観として価値づけ保全し、後世に継承する
- 緑を活用し、環境保全や災害防止、生物多様性の保全と再生などを目指すまちづくりを推進
- 市民が憩い安らぐ快適な生活環境を支える公園緑地の整備と活用の推進
- 市街地において、官民連携のもと公共施設及び民有地の緑化を進め、市民や来街者の安らぎと潤いの場、緑豊かな親しみやすい空間・環境を創出し、市民の居住満足度の向上、交流人口の増大や地域活性化、まちなかのにぎわい創出を図る

⑤ 住み続けられる安全・安心なまちづくり

【構想P45】

- 市民の誰もが住み続けたいと思う魅力あるまちを実現するため、道路や河川、公園、上下水道、ごみ処理施設などを適正に整備し、都市環境や都市基盤の効率的かつ効果的な維持・更新を図る
- 東海環状自動車道の整備に合わせたインターチェンジ等へのアクセス道路整備や、広域連携に資する幹線道路整備などを推進するとともに、各地域の特性を踏まえ、通学路等の日常生活を支える生活道路の整備を計画的に推進
- 将来にわたって安定的かつ持続可能な上下水道事業に取り組み、ライフラインとしての機能を維持するとともに、衛生的で快適な都市環境を実現する
- 良質で豊富な長良川の伏流水や地下水を活かしつつ、水質管理の充実や強化等を図り、安全でおいしい水の供給を図る

⑥ センターゾーンにおける官民連携まちづくり

【構想P45】

- センターゾーンにおいて、民間投資を促し、市全体の成長のエンジンとして、さらなる活力の創出やまちなかへの居住を促進
- センターゾーンの各エリアとエリア間をつなぐ連携軸の魅力や利便性を高めるとともに、ゾーン内にある公共空間や民間の空地などのオープンスペースの有効利用や、民間の力の活用により、ゾーン全体のにぎわいや快適性の創出及び回遊性の向上を図る
- 市街地再開発事業とリノベーションまちづくりを両輪として推進し、エリアの価値向上を図る
- 多様な主体が連携し、ゾーン全体やエリアごとのビジョンを共有して様々な取組を行うエリアマネジメントを推進
- 都市の魅力や経営課題を発見し、地域を動かす術を身に付け、健全な地域発展に貢献する官民におけるクリエイティブな人材・組織の創出、集積、交流、共鳴によるイノベーションを促進

23～24ページ

行財政運営・公共施設等マネジメント

- ① 未来志向の行財政運営を行います
- ② 行政のDXを推進します
- ③ 市民に寄り添う行政運営を行います
- ④ 行政経営の視点を取り入れた公共施設等マネジメントを進めます

25ページ

シティプロモーション

① 未来志向の行財政運営を行います

【構想P46】

- 計画的な財政運営に基づく財政規律の堅持
- 中長期的な都市経営の視点に立ち、未来への投資となる重点施策を推進
- アウトカム（成果）を重視した政策・施策・事業の構築と成果の見える化
- 民間活力や新たな発想を取り入れ、スクラップ＆ビルドにより事務事業を見直し

② 行政のDXを推進します

【構想P46】

- 行政手続きのオンライン化や簡素化など、様々な情報にアクセスしやすい環境づくり
- デジタル化の進展に伴い、デジタル技術を活用することが難しい人たちへのきめ細やかなサポートを強化
- AIやRPA（ロボットによる業務自動化）を活用して職員の事務作業軽減等を図るとともに、政策立案等の機能強化につなげる
- 客観的なエビデンスに基づく政策立案（EBPM）の推進
- 職員のICTリテラシーの向上と専門人材の育成・確保により、行政のデジタル化を加速
- ICTガバナンスの強化として、情報セキュリティ対策の徹底を図る

③ 市民に寄り添う行政運営を行います

【構想P47】

- 地域住民の身近なところで公共サービスを提供する事務所の機能を拡充
- 対話や、SNSなど多様な媒体を組み合わせた幅広い市政情報の公開と市民広聴の推進
- 社会の変化を的確に捉え、市民一人ひとりに寄り添い、多様なニーズに応えられる資質・能力を備えた職員の育成及び組織横断の連携体制づくり
- 非常時においても市民サービスを継続できる組織体制づくり

④ 行政経営の視点を取り入れた公共施設等マネジメントを進めます

【構想P47】

- 公共施設等の安全・安心を確保するための適切な管理
- 市民ニーズ等を踏まえた公共施設等の最適化
- パブリックマインド（公共精神）を持つ民間事業者との共創による公共施設等の戦略的な利活用

【構想P47】

- リニア中央新幹線の開業等も契機として活かしながら、3大都市圏等から本市への移住・定住につながる取組を推進
- デュアルライフ（二地域居住）生活者を取り込み、移住・定住へとつなげる取組を推進
- 本市の人やコトと多様な関係を持つ人である関係人口のさらなる創出・拡大
- 時代や社会の変化を的確に捉え、新たな価値を生み出すことのできる人材を国内外から呼び込む取組を推進
- 市民のシビックプライドを醸成し、住み続けたいと思う人を増やす取組を推進
- 他都市にはない本市の魅力を岐阜ならではの豊かなライフスタイルとしてパッケージ化したり、ブランディングしたりする取組を推進
- 行政組織におけるプロモーションスキルの向上

岐阜市未来のまちづくり構想改定版について

新型コロナウイルスの影響による社会変化を受け、令和3年度に策定



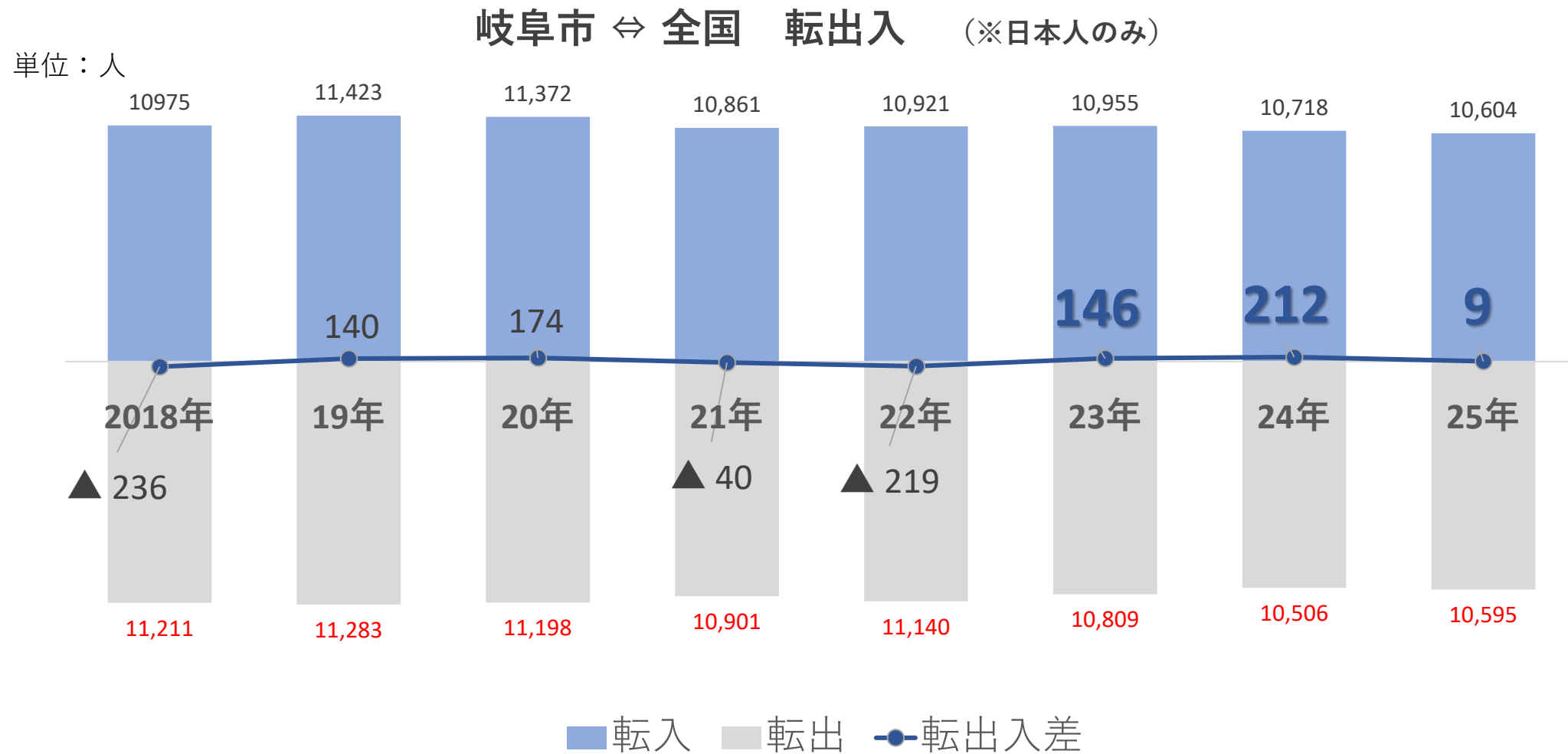
岐阜市 未来のまちづくり構想とは

策定の背景

国内外の社会経済情勢を背景としていますが、特に、2019年12月にはじめて確認された新型コロナウイルスは、瞬く間に世界中に広がり、岐阜市においても感染が拡大し、健康、雇用、教育など様々な分野で課題が顕在化しました。

このような大きな社会変化は、これまでのまちづくりの総合的な方針である「ぎふし未来地図」の策定時(2018年10月)には想定できなかったことから、これらの変化や課題認識を踏まえ、いち早く新たな将来像を示し、その実現に向けて取り組むため、「ぎふし未来地図」に代わる本構想を策定します。

対全国では3年連続転入超過



対全国での転入超過は、東海三県の中核市（※）で**岐阜市のみ**

※三重県に中核市は無い

愛知県内中核市ごとの転出入の比較 ※日本人のみ

岐阜市 ⇔ 全国 + 9人 ⇔ うち名古屋市 ▲261人	一宮市 ⇔ 全国 ▲243人 ⇔ うち名古屋市 ▲323人	岡崎市 ⇔ 全国 ▲746人 ⇔ うち名古屋市 ▲516人
	豊田市 ⇔ 全国 ▲784人 ⇔ うち名古屋市 ▲721人	豊橋市 ⇔ 全国 ▲1,286人 ⇔ うち名古屋市 ▲499人

中核市ごとの転出入状況 ※日本人のみ

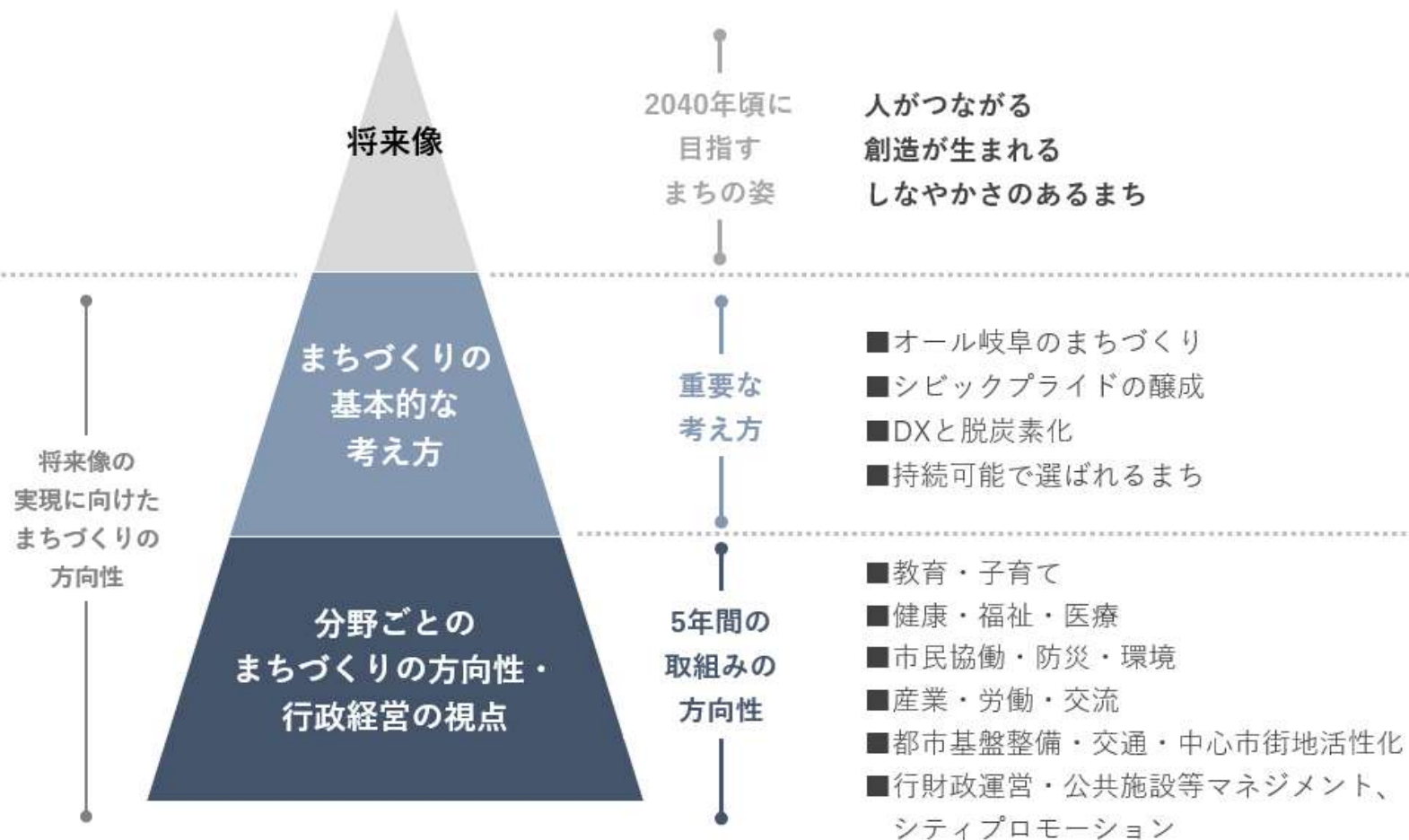
出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告2025年（令和7年）」

3,271



対全国での転入超過数は、全国の中核市で21番目に多い

将来像は改定せず**将来像の実現に向けたまちづくりの方方向性をアップデート**



改定しない

大枠は堅持しつつ、
**新たな視点の追加、
施策や行政経営の視点を
アップデート**

未来のまちづくり構想策定後「**岐阜を動かす**」取組を**着実に実施**

01



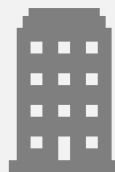
こどもファーストの
推進

02



自動運転の
全国トップランナー

03



岐阜を動かす
社会基盤整備

04



スタートアップ・
企業立地

05



おもてなし文化と
本物志向の観光

06



寄り添う福祉

07



ワークダイバー
シティ

08



健康増進
(都市型クアオルト健康
ウォーキング、ウゴクテ)

09



住民自治による
対話と合意形成

10



先進技術の
早期活用

11



自治体間の連携や
官民連携の促進

12



防犯・交通安全と
災害に強い地域づくり

「**岐阜が動いている**」ことを、**より実感し共有**され、**未来に希望を感じる**改定版へ

現構想（令和4年度～令和8年度）		改定版（令和9年度～）	
 従来からの課題  コロナにより 顕在化した課題		 「岐阜が動く」 さらなる実感・共有  未来に希望	
コロナ禍、顕在化した課題への対処	背景	社会動態の改善、変化を実感	
課題解決	視点	価値創造、加速（プラスを最大化）	
克服、対応、安全、安心	ポイント	加速、実感、共有	
不安の解消を求める	市民の感情	まちの 変化を楽しみ、未来に希望を	

まちづくりの基本的な考え方の改定案

岐阜市のこれまでの取組の**成果**や**魅力**などを「まちづくりの基本的な考え方」に落とし込み、
岐阜市ならではの**方向性**を示す

現状

① オール岐阜のまちづくり

② シビックプライドの醸成

③ DXと脱炭素化

④ 持続可能で選ばれるまち

包含

包含

包含



改定案

① 人や企業に選ばれ共に進化する岐阜市

⇒キーワード「**成長**」

おもにハード事業や経済・観光分野

② 豊かさと希望と生きがいに満ちあふれた
持続可能な岐阜市

⇒キーワード「**幸福**」

おもにソフト事業や教育・福祉分野

③ オール岐阜で共創する岐阜市

⇒キーワード「**共創**」

包括的な概念

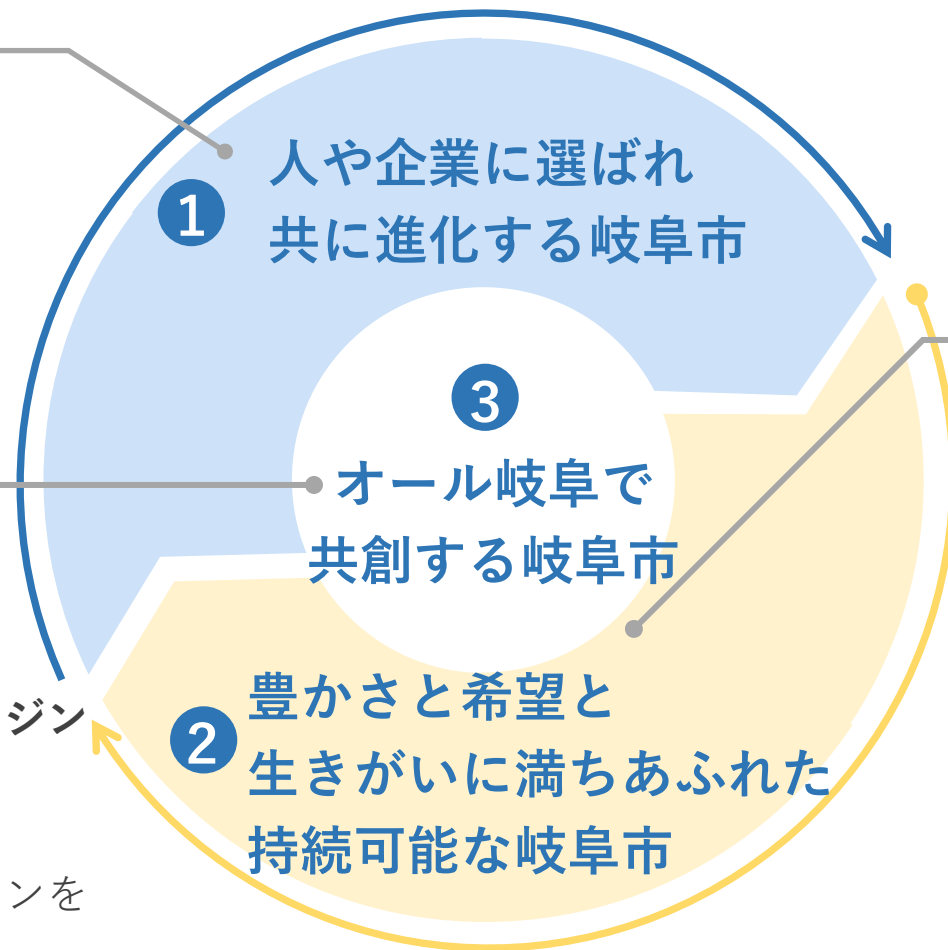
項目を並列に並べるのではなく、「**成長**」と「**幸福**」の**好循環**を「**共創**」で**回す**構造

【成長】

- ・「**岐阜を動かす**」エネルギー
- ・これまでの成果を活かし、選ばれるだけでなく、人や企業と共に「進化」し続ける岐阜市を目指す

【共創】

- ・①②を**加速させる**ための**メインエンジン**
- ・行政だけでなく、市民や企業が連携し、「自分事」として主体的にまちづくりに関わり、イノベーションを促進する



【幸福】

- ・成果は数字だけでなく市民の「**心の豊かさ**」や「**活力**」にも**拡散**
- ・包摂性により居場所や生きがいを実感し、精神的な安心・幸福を育む

固有の資源の活用と官民連携により、安心な暮らしと挑戦を支え、変化の実感が共有されるまち



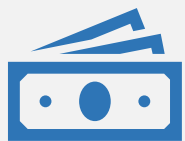
先進技術の実装と本物志向の魅力により更なる共感が創出されるまち

- 先進技術の社会実装におけるトップランナーとなり、可変性のある都市の持続的な発展を進め、まちへの共感を促進する
- 清流長良川と1300年以上の歴史と伝統を誇る鶺鴒文化や清流長良川、日本遺産を活かした本物志向の観光を推進する



レジリエントで価値の高いまち

- 災害への備え、気候変動に対する緩和と適応の推進により安全な生活基盤を確保する
- エリアの価値向上につながる都市機能や地域を支える産業の強化を進める



多様なチャレンジと変化が生み出される民間投資が活発なまち

- 民間の活力を市民の暮らしと岐阜市の魅力向上につなげる
- 企業立地促進・創業支援により民間投資を呼び込み新たな雇用と事業を創出する

こどもファーストや寄り添う支援により、次世代の育成が進み誰もが幸福を感じながら活躍するまち



学びや成長を実感し未来に希望を持てる包摂的なまち

- 生涯にわたる**学び**と**成長**に注力し、次世代を育むとともに市民誰もが新たな**挑戦**や**活躍**ができる機会を創出する
- 世代や性別、国籍、障がいの有無などに関わらず、互いに認め合い**誰一人取り残されない**社会を実現する



居場所と出番がある持続可能なまち

- 市民一人ひとりに**寄り添い**つつ、多様な働き方やライフスタイルが実現でき**心豊かに安心して**暮らせる社会を推進する
- 量的拡大から**質的充実**、画一から**個別最適**等の人口減少時代における持続可能な**新たなフレームワーク**への**転換**を図る



Well-beingに満ちた活力あるまち

- 健康づくりを通して市民一人ひとりが**健やか**で**活力**ある生活を送るための支援を実施する
- 地域に根ざした歴史・伝統文化・スポーツ**を通じて、人との**つながり**や**生きがい**を**実感**できる場を創出する

DXによる**変革**の**先頭**に立ち、**共助・共生**により**多様**な**主体**が**支え合う**まち



市民主体のまちづくりが進展するまち

- 市民一人ひとりが当事者となり、対話や合意形成を通じて「まちの未来」や「地域のコミュニティ」を形成する
- 多様な価値観を受け入れる寛容性のもと、挑戦する人を支え応援する機運をまち全体で醸成する



地域コミュニティとシビックプライドの醸成が進むまち

- 長良川や金華山に象徴される豊かな自然と都市機能が調和した岐阜市ならではのまちの原風景や体験を愛着につなげる
- 主体的にまちづくりに関わる人が増え、包摂性のもと多様なコミュニティが育つ



多様な主体の連携によるオープンイノベーションを促進するまち

- 市民、企業、団体、地域、行政それぞれが持つ強みを「共創」により最大化し新たな価値を創造する
- AI等を用いたDXによる効率性向上と多様な主体との連携を促進し、組織の垣根を超えた課題解決を目指す

有識者ヒアリングの意見

- ・ **高齢者**や**障がい者**を確実に**守る体制**を整えることが重要。その上で、支援者の役割が果たせるよう、国と調整しながら**防災拠点の構築**が必要。
- ・ 自治体には、地域における旗振り役となる意欲的な経営者への声掛けなど、イベントの**共同開催**を期待している。補助金よりも、このような**場づくり**が重要だと考えられる。
- ・ 岐阜市の可能性は決して低くはなく、**金華山**、**長良川**など、**食と相性の良い資源**が岐阜市には豊富にある。
- ・ 行政は『課題発見』ではなく『**ポテンシャル発掘**』に**注力**し、空き地・工業空間・老朽公共施設を**新たな可能性**として捉え直すべきである。

- ・ 意識の高い層から戦略的に力を入れ、同時に意識の低い層に対しても「**取り残しませんよ**」というメッセージを伝えながら推進することが大切。
- ・ 日本は達成思考にこだわる文化があるが、**生活の質を重視**する、発想の転換が求められる。
- ・ 岐阜市で既に取り組んでいるワークダイバーシティの施策は、一人ひとりの**居場所感**や**役割認識**につながっており、**生きがい**や**Well-being**に**寄与**すると考えられる
- ・ **市民に寄り添う**ことが**自治体職員**の仕事の**本質**である。
- ・ 内閣府が提唱する未来社会の姿であるSociety 5.0では「**多様な価値を具体的にどう実現するか**」が問われる
- ・ 「現在の岐阜市では自然減は一定程度不可避である一方、地方特有の『**一人当たりの空間的豊かさ**』という**ポジティブな価値**を具体的に**発信**すべきである。」

- ・ 市民の理解を促すには、問題の**当事者意識**を持たせることが重要である。
- ・ 適応分野は広範囲に及び、農業や防災など専門外の実務も含むため、担当者で全てを遂行することは困難。**体制整備**と**並行**して**連携の強化**が重要。
- ・ 地域の変革には**民間と行政の両方の役割**が**重要**。最初は尖った人材による挑戦が必要だが、そうした民間の動きに対して**行政がどのタイミングでどう手を差し伸べるか**が重要。
- ・ 行政と民間は従来の「発注者－受託者」関係ではなく、**共に考えるパートナーシップ**の構築が重要である。
- ・ 成功する組織風土では、「ミス回避」だけでなく「**挑戦を評価する**」**文化**が必要であり、これなくしては職員の積極的なチャレンジは期待できない。

まちづくりの基本的な考え方改定案

人や企業から選ばれ共に進化する岐阜市

- ・ 先進技術の実装と本物志向の魅力による更なる共感・共有が生まれるまち
- ・ レジリエントで価値の高いまち
- ・ 多様なチャレンジが生まれ民間投資が活発なまち

豊かさと希望と生きがいに満ちあふれた持続可能な岐阜市

- ・ 学びや成長を実感し未来に希望を持てる包摂的なまち
- ・ 居場所と出番がある持続可能なまち
- ・ Well-beingに満ちた活力あるまち

オール岐阜で共創する岐阜市

- ・ 市民主体のまちづくりが進展するまち
- ・ 地域コミュニティとシビックプライドの醸成が進むまち
- ・ 多様な主体の連携によるオープンイノベーションを促進するまち

①現構想に追加すべき視点、②まちづくりの基本的な考え方の改定案についてご意見ををお願いします

	① 現構想	② 改定版
まちづくりの 基本的な考え方	・ オール岐阜のまちづくり ・ シビックプライドの醸成 ・ DXと脱炭素化 ・ 持続可能で選ばれるまち	・ 人や企業に選ばれ共に進化 する岐阜市 ・ 豊かさと希望と生きがいに 満ちあふれた持続可能な岐阜市 ・ オール岐阜で共創する岐阜市
分野ごとの まちづくり の方向性	・ 教育・子育て ・ 福祉・医療・健康 ・ 市民協働・防災・環境 ・ 産業・労働・交流 ・ 都市基盤整備・交通・ 中心市街地活性化	第2回懇談会にて意見交換
行政経営の視点	・ 行政経営の視点	